

このたび、2017 年 9 月 2 日に、秋季大会と総会が明治大学駿河台キャンパスにおいて予定どおりに行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

☆ 総会での議決事項について

- 1) 昨年度決算および今年度予算について、下記（別紙資料 1）のように、昨年度の決算と今年度の予算が総会で承認されました。
- 2) 今年度の事業予定について、下記（別紙資料 2）のように、今年度の事業予定が総会で承認されました。なおすでにおこなわれた事業に関しましては日仏哲学会 HP の方をごらんください。
- 3) 第四回日仏哲学会若手研究者奨励賞受賞者として、岡嶋隆佑氏（論文「ベルクソン『物質と記憶』におけるイマージュ概念について」）が選出され、表彰されました。

☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募されるかたは本年 12 月 31 日までに 下記編集委員長の e-mail アドレスに PDF ファイルで完成原稿をお送りください。（以下参考。※ 投稿規定は HP からご覧いただけます）。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定

1. テーマ：フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。
2. 応募資格：日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない）。
3. 応募原稿の形式：ワープロソフトによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1 行 全角 43 字（半角 86 字）の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて 370 行以内。注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルと著者名も含め 12 行以内）を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。
4. 原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。

また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。

5. 原稿応募期間:2017年 12月1日～31日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)のPDFを添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先:編集委員会委員長宛。
(編集委員長):加國尚志 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学文学部
メールアドレス: kakuni@lt.ritsume.ac.jp
7. 審査:掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿(論文及び欧文レジュメ)の電子ファイル(PDFではなく、Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談)を添付ファイルとしてメールで編集委員長宛に送付すること。

☆ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2018年春季大会は3月24日(土)に南山大学(名古屋キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は25分(15分の質疑応答付き)です。

発表希望者は2017年12月31日までに、日本語の場合は1200字以内、フランス語の場合は300mots以内(いずれもタイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む)の発表要旨(Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの)を事務局までメールで送付してください。

なおその際には、「応募メールを送った」旨を伝える簡単なく確認メールも別途同時に事務局までお送りください。採否は1月末日までに決定いたします。

★会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。(なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号: 00120-6-194046 / 加入者名 : 日仏哲学会

資料1 2016年度決算、2017年度予算について

2016年度(2016年9月1日~2017年8月31日)予算/決算表

2016年度予算表	
収入	
会費収入	1,400,000
雑収入	50,000
2016年度収入予算	1,450,000
支出	
大会費	100,000
事務局費	350,000
通信費・送料	150,000
機関誌刊行費	770,000
HP管理維持等	20,000
若手研究者奨励賞	30,000
2016年度支出予算	1,420,000
純利益	30,000
2015年度末総資産	1,823,353
2016年度末総資産見積もり	1,853,353

2016年度決算表	
収入	
会費収入	1,445,000
機関誌売上	18,700
著作権料	33,500
*その他1	1,500
2016年度実収入	1,498,700
支出	
大会費	98,617
事務局費	341,495
**通信費・送料	153,072
機関誌発行代	781,958
***その他2	56,256
2016年度実支出	1,431,398
純利益	67,302
2015年度末総資産	1,823,353
2016年度末総資産	1,890,655

2017年度(2017年9月1日~2018年8月31日)予算表

2017年度予算表

収入	
会費収入	1,400,000
雑収入	50,000
2017年度収入予算	1,450,000
支出	
大会費	150,000
事務局費	300,000
**通信費・送料	150,000
機関誌発行代	800,000
若手研究者奨励賞	30,000
雑支出	5,000
2017年度支出予算	1,435,000
純利益	15,000
2016年度末総資産	1,890,655
2017年度末総資産見積もり	1,905,655

*「その他1」=懇親会余剰金

**「通信費・送料」は、封筒ラベル・発送関係アルバイト代を含む

***「その他2」は、若手研究者奨励賞(16年度)30,000円とノート代、領収書代、払い出し手数料などを含む

****2016年度実収入の計算は2017年8月26日まで;2016年度実支出の計算は2017年8月29日まで

資料2 2017年度事業計画について

① 2017年9月2日 秋季研究大会（明治大学 駿河台キャンパス）

- ・一般研究発表：21名
- ・総会
- ・シンポジウム：＜女性と母の哲学の展開：フランス哲学を出発点にして＞
（司会）河野哲也、（発表）棚沢直子、中真生、藤高和輝
- ・2017年9月1日 提案型ワークショップ
＜金森修の科学思想史とエピステモロジーのこれから＞
（司会）近藤和敬、（発表）山口裕之、中村大介、近藤和敬

2018年3月24日 春季研究大会（南山大学）

- ・一般研究発表
- ・シンポジウム：「17世紀の哲学と科学ーデカルトとライプニッツー」（仮）
（司会）香川知晶（山梨大学）
（提題者）酒井潔（学習院大学）、佐藤真人（学振特別研究員PD／東京大学）、
長綱啓典（帝京大学）

② 2018年9月 機関誌23号発行

③ 以降の大会予定

2018年9月「パリ五月革命と現代フランス思想」（現在9月8日土曜日・明治大学駿河台校舎を予定。変更の可能性あり）

2019年3月 精神医療関連のシンポジウム（発表者、開催場所など調整中）